

選ばれる私学 “本物の先進教育” [首都圏女子校編]

PICK-UP

大学合格を導く プレゼン能力

SDGs探究プログラムでは発表も重視。年度末に中高全学年を対象にしたプレゼンテーション大会を実施する。中学1年次から鍛えられるプレゼン能力は学校推薦型選抜や総合型選抜による大学合格に結びついている。



①地域を旅し、働くことに関するポスターをつくる「ポスタビ」。「持続可能な開発目標」を意識する。②全校プレゼン「Global Presentation Award」では日々の学習活動の成果を発信・共有する



探究



東京家政学院中学校・高等学校

個性を生かし、人間的成長を促す SDGs探究プログラム



川邊 健司
社会科教師
教育研究係主任

毎年、中学1年生と2年生の縦割りグループの生徒たちが学校周

辺の商店などを訪れ、取材を行っています。「働くこと」に耳を傾け、「自分がどんな人間に成長したいか」を考える取り組みの一環で、ポスタビをつくって発表を行うため、「ポスタビ」という名で呼ばれています。

ポスタビは中高6年間で続ける「SDGs探究プログラム」の一つで、まずは身近な場所で「持続可能な開発目標」に向かいます。高校1、2年生では同じくグループによるフィールドワークを通して社会とつながりながら、より広い視野でSDGsをとらえます。「私たちに何ができるのか」を考え、最終的にはグループごとに論文を作成し発表します。SDGs探究プログラムをグループ単位で行っているのは、対人的知能、論理・数学的知能、内省的知能、言語・語学知能など、一人ひとりの個性を生かしてもらいたいからです。また、グループで地域や社会につながることで、コミュニケーション能力、協調性、主体性、チャレンジ精神が着実に養われています。体験重視のSDGs探究プログラムは、社会で必要な能力や資質を育む活動です。教室を飛び出した学びを通し、生徒たちは頼もしく人間的成長を続けています。

SCHOOL DATA

東京家政学院中学校・高等学校 <https://www.kasei-gakuin.ed.jp>
〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地 TEL.03-3262-2559 (入試事務室)

